

「当院におけるレカネマブ使用症例についての検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院において、2023年12月20日から2025年10月22日までの期間にレカネマブを投薬されたアルツハイマー病の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

従来アルツハイマー病に対しては疾患修飾が可能な治療薬はありませんでしたが、2023年12月に本邦で抗アミロイド β 抗体であるレカネマブが保険収載され、当院においてもその使用例が徐々に増えています。そこで、当院におけるレカネマブ使用症例について検討し、その特徴を明らかにすることで、今後の診療に役立てたいと考えます。

3. 研究期間

研究期間：病院長の実施許可後～2026年6月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月24日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテ情報（採血、画像検査、認知機能検査の結果などの検査データや診療記録）

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院脳神経内科において、研究責任者である川崎一史が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

アルツハイマー病と診断され、レカネマブを投与された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院脳神経内科 川崎 一史（研究代表者）

他、同科診療スタッフ（埼玉医科大学病院ホームページ <https://www.saitama-med.ac.jp>）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはできません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 脳神経内科 川崎一史

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1208（土日祝日を除く 8:30～17:30）

○研究課題名：当院におけるレカネマブ使用症例についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 脳神経内科 川崎一史